

下関市大河浜遺跡出土の近世幼小児骨

松下孝幸*・松下真実**

【キーワード】：山口県、近世人骨、幼児骨、土壌墓

1. はじめに

山口県下関市豊北町大字神田島戸に所在する大河浜遺跡は山口県教育委員会によって 1993（平成 5）年に発掘調査がおこなわれ、18 体の近世人骨が出土した遺跡である。成人骨については計測値などを報告書に記載したが（松下・他、1994）、未成人骨の計測値などについては報告していない。本人骨は埋葬遺構が砂質土壌に立地していたために、保存状態はきわめて良好で、海浜部の近世人骨の例としては貴重である。未成人骨の保存状態も良好なので、海浜部における近世幼小児骨の標識モデルとなり得る人骨と考えられることから、計測値や所見を記載しておきたい。

山口県での近世人骨の例としては、山口市の西小路遺跡（松下、1983a）、神正遺跡（旧阿知須町）（松下、1998b）、朝田墳墓群Ⅵ区（松下、2012）、下関市の^{おおこのはま}大河浜遺跡（旧豊北町）（松下・他、1994）、堤迫・道祖ノ本遺跡（旧豊北町）（松下・他、1998a）、大乘寺（松下・他、2011b）、下松市梅の木原遺跡（松下・他、1986）、柳井市の鳥越遺跡（松下、1997a）、向田遺跡（松下、2005c）、吉毛遺跡（松下・他、2011a）、萩市の萩城跡（松下、2002b、2006）、美祢市の長登銅山跡（旧美東町）（松下、1998d）があるが、幼小児人骨が出土しているのは朝田墳墓群Ⅵ区、大乘寺、向田遺跡、吉毛遺跡のみである。

北九州市では、上清水遺跡（松下・他、1992）（松下、2003）、宗玄寺跡（松下、1995）、普済院跡（松下、1996）、京町遺跡（松下、1993）、古川平原古墳（松下、1997b）、常盤橋西勢溜り跡（松下、1999）、京町遺跡第 3 地点（生往寺）（松下、2002a）、開善寺跡（松下、2005a）、下到津遺跡（松下、1998c）、中貫ミカシキ遺跡（松下、2004）、蒲生石棺群Ⅲ区（松下・他、2010a）、恒見遺跡（松下・他、2010b）から近世人骨が出土しているが、未成人骨は宗玄寺跡、京町遺跡などから出土している。

2. 資 料

1993（平成 5）年の発掘調査で出土・採集した人骨は 18 体で（表 1）、そのうちの 4 体が未成人骨であった。発掘調査は、Ⅰ地区、Ⅱ地区、Ⅲ地区の 3 個所でおこなわれたが、Ⅱ地区からは遺構や人骨は検出されなかった。Ⅰ地区は人骨が甕に再埋葬されていた地点で、埋葬人骨が出土したのはⅢ地区のみである。ST4 を除く 9 基の墓坑から鉄釘が出土しているので、木棺が使用されたようである。埋葬姿勢は側臥屈葬が多い。Ⅲ地区から出土した 3 体の幼小児も側臥屈葬であった。なお、幼小児の年齢などは表 2 に示すとおりである。また、年齢区分を表 3 に示した。

計測方法は、Martin-Saller（1957）によったが、脛骨の横径はオリビエの方法で計測し、鼻根部については鈴木（1963）と松下ら（1983b）の方法で計測した。

この 4 体の幼小児骨は考古学的所見から近世に属する人骨と推測されている。

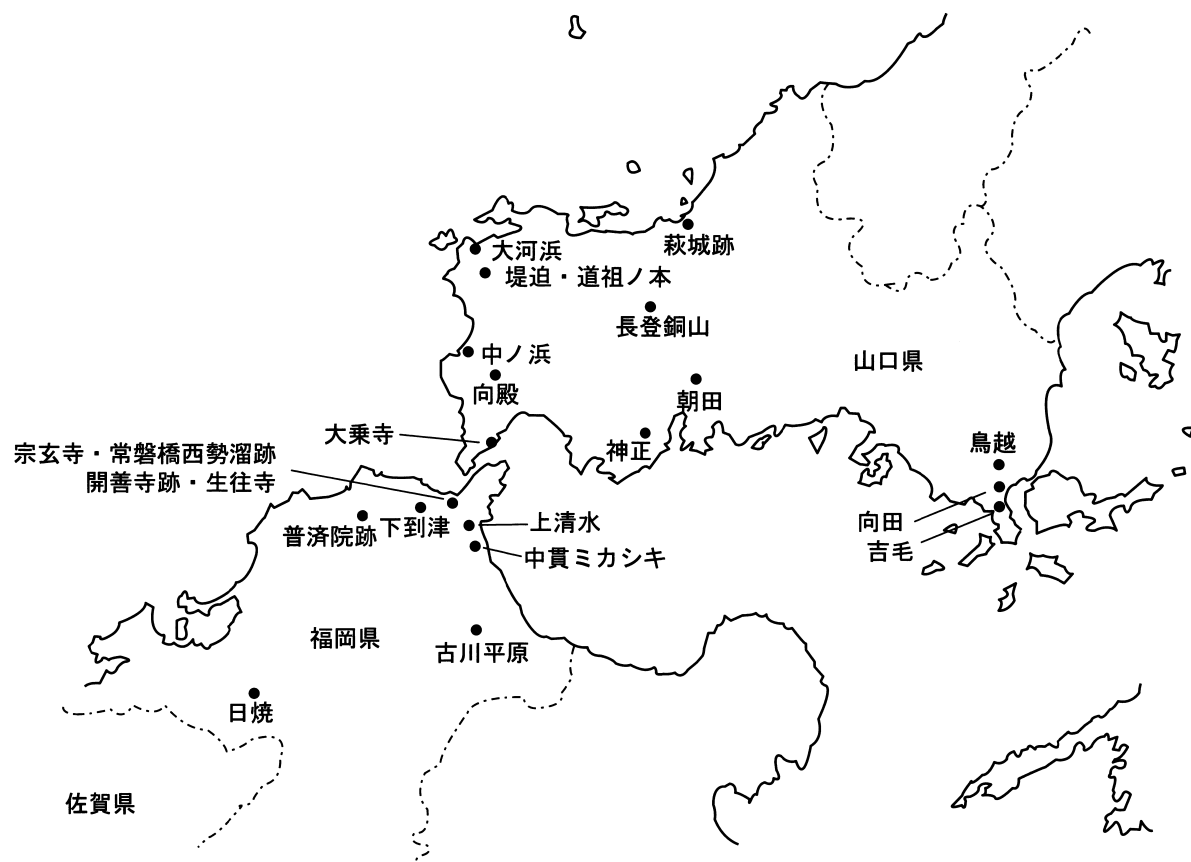


図1. 遺跡の位置 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the Okonohama site, Shimonoseki City, Yamaguchi Prefecture)

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成 人			幼小児	合計
	男性	女性	不明		
Ⅲ地区	4	3	0	3	10
I地区	2	3	0	1	6
地区外	0	1	1	0	2
合 計	6	7	1	4	18

表2 幼小児骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年 齢	備考(埋葬姿勢)
《Ⅲ地区》			
2号人骨(ST2)	—	1.5歳(幼児)	側臥(右を下)
4号人骨(ST4)	—	4歳(幼児)	側臥(右を下)
10号人骨(ST10)	—	7歳(小児)	側臥(右を下)
《I地区》			
B - 3号人骨	—	1.5～2歳(幼児)	甕に再埋葬

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年 齢	
未成人	乳児	1歳未満	
	幼児	1歳～ 5歳	(第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳	(第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳	(蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳	(40歳未満)
	熟年	40歳～59歳	(60歳未満)
	老年	60歳以上	

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。

3. 所 見

I 2号人骨(ST2)

1. 頭蓋

頭蓋骨はよく残っているが、部分的に変形しているために脳頭蓋を完全に復元することができない。変形を補正して頭型を推測してみたところ、長頭型と思われる。顔面骨は残りが悪いので、顔面頭蓋を復元することができないが、右側眼窩はかろうじて計測ができた。眼窩幅は(31)mm(右)、眼窩高は27mm(右)で、眼窩示数は87.10(右)となり、高眼窩(hypsikonch)に属している。

2. 歯

上下両顎には歯(乳歯)が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

V	IV	III	II	I	I	II	III	／	V
V	IV	III	II	／	I	II	III	IV	V

〔／:不明（破損）〕

（Ⅰ：乳中切歯、Ⅱ：乳側切歯、Ⅲ：乳犬歯、Ⅳ：第一乳臼歯、Ⅴ：第二乳臼歯）

乳歯はすべて歯根が完成していない。また、下顎では乳歯の萌出状態が観察できたが、左右の乳犬歯と第二乳臼歯は歯槽内に埋伏しており、未萌出であった。なお、下顎右側第一大臼歯冠も埋伏状態で確認できた。

年齢を、乳歯の萌出状態と歯根の形成程度から、1.5歳の幼児と推定した。

3. 四肢骨

四肢骨の保存状態はきわめて良好である。各骨の計測値は表7～17に示したが、四肢骨から年齢を推測するために、他の幼児骨と比較してみた。

①上腕骨

表4は上腕骨の比較表である。骨体最大長は、京町 KB-7（9ヶ月）より長く、城間（2歳）より短い。骨体中央周は多少のばらつきはあるが、おおむね9ヶ月から2歳までの範囲に収まっているので、推定年齢を1.5歳としても大きな矛盾はない。

②大腿骨

表5（5-1, 5-2）は大腿骨の比較表である。骨体最大長は、京町 DB-244-2（1.5歳）よりは小さく、京町 KB-182（1.5～2歳）よりは大きい。骨体中央周は1歳から2歳の間に収まっており、大腿骨からも推定年齢1.5歳と大きな矛盾は認められない。

③脛骨

表6は脛骨の比較表である。骨体最大長は京町 KB-281（3歳）よりはやや短い。骨体中央周は1歳から2歳までの例よりは小さく、比較的京町 DB-302-2（1～1.5歳）に近い。骨体は同じ年齢前後の例よりも細い傾向がうかがえる。

4. 推定年齢

年齢は、基本的には乳歯の歯根と永久歯冠の形成状態から推定した。幼小児期の成長は個人差が大きく、歯の成長と四肢骨の成長は栄養状態や遺伝的要因に左右される。従って、年齢を推定する際には両者を総合的に判断し、推定することが必要である。本例は脛骨がやや細いが、総合的に判断して、年齢を1.5歳（前後）と推定しても矛盾しないようである。

II 4号人骨（ST4）

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

ほぼ完全に復元することができた。大泉門は大きく開放しているが、小泉門は閉じている。当然、三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が167mm、頭蓋最大幅は125mm、バジオン・プレグマ高は(130)mmである。頭蓋長幅示数は74.85、頭蓋長高示数は(77.84)、頭蓋幅高示数は(104.00)となり、頭型は長頭型、高頭型、尖頭型(dolic-, hypsi-, akrocran)に属している。また、頭蓋水平周は468mm、横弧

長は 297mm、正中矢状弧長は 347mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋もほぼ完全で、計測ができた。前頭鱗は豊かに膨隆しており、頬骨の外側への張り出しは弱い。鼻骨を欠損しているので、鼻骨の隆起程度は不明である。低顔であるが、眼窩の高径は高い。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が (75) mm、中顔幅は 75mm、顔高は 82mm、上顔高は 47mm で、顔示数は 109.33 (V)、上顔示数は 62.67 (V) となり、顔面には低・広顔傾向が認められる。頬骨弓幅の計測はできないが、推定値は 94mm 程度で、幅径は広くなく、推定値を使ってコルマンの顔示数と上顔示数を算出すると、それぞれ、(87.23)、(50.00) と、両示数値とも大きな値となり、北部九州・山口地域の弥生時代成人と同じ値を示しているが、これは頬骨が成長途上にあることによる。

眼窩幅は 37mm (右)、34mm (左)、眼窩高は 33mm (両側) で、眼窩示数は 89.19 (右)、97.06 (左) となり、両側とも高眼窩 (hypsikonch) に属している。

鼻幅は 21mm、鼻高は 37mm で、鼻示数は 56.76 となり、低鼻 (chamaerrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 14mm、両眼窩幅は 79mm で、眼窩間示数は 17.72 となる。鼻骨前頭突起水平傾斜角は 124 度を示し、前頭突起の向きは前額方向である。鼻頬骨角は 147 度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は 15.19 である。

側面角は、全側面角が 98 度、鼻側面角が 97 度、齒槽側面角は 102 度で、齒槽側面角が異常に大きい、これは上顎骨齒槽突起の正中部にみられる病変の影響と思われる。

下顎骨は、左側の関節突起を欠損している以外はほぼ完全である。

左側の筋突起は外反しており、下顎体の高径は低く、下顎枝は幅広く、下顎切痕は浅い。角前切痕はやや深い。

2. 齒

上下両顎には齒が釘植していた。残存乳齒と齒槽の状態を齒式で示すと、次のとおりである。

V	IV	III	II	I	●	II	III	IV	V
V	IV	III	II	I	I	II	III	IV	V

(●:齒槽閉鎖)

(I : 乳中切齒、II : 乳側切齒、III : 乳犬齒、IV : 第一乳臼齒、V : 第二乳臼齒)

乳齒の齒根はほぼ完成しており、上下両顎の第一大臼齒の齒冠も埋伏状態で存在する。上顎左側乳中切齒の齒槽は閉鎖しており、乳中切齒も残存していない。また、上顎右側乳中切齒と左側乳側切齒の齒槽も閉鎖寸前であり、上顎右側乳中切齒と左側乳側切齒の齒根はかなり短くなっている。上顎骨齒槽突起の正中部分には骨粗造がみられ、微細孔も存在することから、齒槽や齒根の異常はこの病変によるものと思われる。

乳齒はすべて萌出しており、乳齒の齒根の形成程度から、年齢を 4 歳の幼児と推定した。

3. 四肢骨

四肢骨の保存状態はきわめて良好である。各骨の計測値は表 7 ~ 17 に示したが、四肢骨から年齢を推測するために、他の幼児骨と比較してみた。

①上腕骨

表 4 で比較してみた。骨体最大長は、城間 (2 歳) より長く、大河浜 (7 歳) よりかなり短い。骨

体中央周は、他の2歳～4歳よりも小さく、骨体は細い。

②大腿骨

表5(5-1, 5-2)で比較してみた。骨体最大長は、京町 KB-281(3歳)よりは大きく、京町 KB-302(5歳)よりは小さい。骨体中央周は恒見 N5-Y-1(3.5歳)と京町 Kb-122(4～5歳)とほぼ同じ大きさで、京町 KB-85(4歳)よりも小さい。

③脛骨

表6で比較してみた。骨体中央周と骨体最小周は、3歳までの値よりも大きく、5歳以上の値よりも小さく、3歳と5歳の間に収まっており、4歳と推定しても矛盾はしない。なお、右側骨体には異常な膨隆がみられる。緻密質が粗造で、多孔質へ変化しており、上顎骨歯槽突起正中部にみられる病変と関連するものであろう。

4. 推定年齢

乳歯の歯根の形成程度から、年齢を4歳と推定したが、四肢骨の長さとも大きさからも4歳程度と推測しても大過ないようである。

III 10号人骨(ST10)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋は完全である。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が167mm、頭蓋最大幅は131mm、バジオン・ブレグマ高は131mmである。頭蓋長幅示数は78.44、頭蓋長高示数は78.44、頭蓋幅高示数は100.00となり、頭型は長頭型、高頭型、尖頭型(dolic-, hypsi-, akrocran)に属している。また、頭蓋水平周は480mm、横弧長は295mm、正中矢状弧長は352mmである。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は完全である。頬骨の外側への張り出しは弱い。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が82mm、頬骨弓幅は115mm、中顔幅は87mm、顔高は92mm、上顔高は54mmで、顔示数は80.00(K)、105.75(V)、上顔示数は46.96(K)、62.07(V)となり、顔面には低・広顔傾向が認められる。

眼窩幅は39mm(右)、40mm(左)、眼窩高は33mm(両側)で、眼窩示数は84.62(右)、82.50(左)となり、両側とも中眼窩(mesokonch)に属している。

鼻幅は22mm、鼻高は43mmで、鼻示数は51.16となり、低鼻(chamaerrhin)に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が15mm、鼻根横弧長は16mm、鼻根彎曲示数は93.75となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は87mmで、眼窩間示数は17.24となる。鼻骨最小幅は7mmで、前頭突起水平傾斜角は90度を示し、前頭突起の向きは矢状方向である。鼻根角は152度、鼻根陥凹示数は90.90で、鼻骨の隆起は弱い。

鼻頬骨角は150度と大きく、顔面扁平示数は13.79で、顔面は扁平である。

側面角は、全側面角が89度、鼻側面角が89度、歯槽側面角は86度で、歯槽性突顎は認められない。

下顎骨も完全である。下顎枝は幅広く、下顎切痕はやや深い。角前切痕は浅く、下顎角はやや外反している。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

(乳歯)

V	IV	III	II	◆	◆	II	III	IV	V
V	IV	III	◆	◆	◆	◆	III	IV	V

(Ⅰ：乳中切歯、Ⅱ：乳側切歯、Ⅲ：乳犬歯、Ⅳ：第一乳臼歯、Ⅴ：第二乳臼歯)

(永久歯)

/	7	6	/	/	/	/	1	1	/	/	/	/	6	7	/
/	7	6	/	/	/	2	1	1	2	/	/	/	6	7	/

(/：不明 ◆：脱落、番号は歯種)

(1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯)

上下両顎の第二大臼歯冠は歯槽内に埋伏している。第一大臼歯は4本とも萌出が完了している。下顎は中切歯も側切歯も萌出しているが、上顎は中切歯のみしか萌出していない。下顎右側の第一大臼歯の歯根の形成程度から年齢を7歳と推定した。下顎第二乳臼歯冠遠位半には齲蝕がみられる。歯冠が消失し、齲蝕痕は深い。この部分の頬側は歯槽が吸収され、第二乳臼歯の歯根が露出している。さらに下顎体左側部には粗造で、多孔質の骨増殖が、第一乳臼歯から第一大臼歯の下部に至る広範囲にみられ、歯周疾患が進行してたことがうかがえる。

3. 四肢骨

四肢骨の保存状態はきわめて良好である。各骨の計測値は表7～17に示したが、四肢骨から年齢を推測するために、他の幼児骨と比較してみた。

①上腕骨

表4で比較してみた。骨体中央周は京町 KB-227 (6歳) より大きく、京町 KB-301 (7～8歳)、京町 DB-488-4 (8歳) より小さい。

②大腿骨

表5 (5-2) で比較してみた。骨体最大長は、京町 KB-302 (5歳)、京町 KB-227 (6歳) より大きい。骨体中央周は、京町 KB-227 (6歳) より大きく、京町 KB-302 (5歳)、京町 KB-301 (7～8歳)、京町 KB-350 (8歳) より小さい。

③脛骨

表6で比較してみた。骨体最大長は、京町 KB-302 (5歳) より大きい。骨体中央周は、京町 KB-227 (6歳) より大きく、京町 KB-302 (5歳) と大差なく、日焼 S-862 (8歳)、京町 DB-102-1-1 (10歳) よりかなり小さい。

4. 推定年齢

第一大臼歯の歯根の形成程度から年齢を7歳と推定した。四肢骨の長さとおおむね年齢

を7歳程度と推定してもさしつかえないようである。

IV B-3号人骨

大腿骨、脛骨、腓骨が残存しており、大腿骨と脛骨の計測ができた。保存状態が比較的良好だった脛骨を他の資料と比較して、年齢を推定してみた。

①脛骨

骨体中央周、骨体中央横径は京町 KB-182 (1.5 ~ 2 歳) に一致し、骨体中央最大径も大差ない値であることから、年齢を1.5歳~2歳と推定した。なお、本脛骨の長さは2号人骨と大差ないようであるが、骨体の太さは、2号人骨よりもやや大きい。

V 推定年齢と死因

未成人骨は不幸にして成人に達する前に何らかの原因によって、死に至ったヒトの遺骨である。人骨から正確な暦年齢を知ることができないので、骨から年齢を推定する際、正常な成長をしていない恐れもあるが、何らかの基準を設定して年齢を推測する必要がある。幼小児の場合は歯が比較的良好に残っていることが多いので、私たちはこの乳歯や永久歯の萌出状況や歯根の形成程度から推測している。四肢骨が残存していれば当然、四肢骨の長さや太さも考慮して年齢を推定している。しかし、推定した年齢は、幼小児期では個人差が大きいことが予想されるので、推定年齢±1歳程度の誤差を考慮しておくべきであろう。

また、死因を骨だけから推測することはかなり困難である。骨に疾病の痕跡が残されていなければ推測できないが、そのような疾病は多くない。将来は骨の形態変化ではとらえられない病気の原因を生化学的分析やDNA分析などによって明らかにすることができるようになるかもしれない。死因を特定することができれば、当時の衛生状態などを復元することができ、未成人がどのような危険を乗り越えながら、成人に達したかを推測することができる。4号人骨には上顎骨歯槽突起と右側脛骨体に異常な歯槽閉鎖や緻密質の膨隆と多孔質化がみられ、10号人骨の下顎第二乳臼歯には重度の齲蝕がみられ、齲蝕に端を発した炎症が広く周辺部に及んだことがうかがえる。この症状が死に至らしめた遠因だったかもしれない。

4. 要 約

山口県下関市豊北町大字神田島戸にある大河浜遺跡^{おおこのはま}の発掘調査が1993(平成5)年におこなわれ、18体の近世人骨が出土した。そのうちの4体は幼小児骨で、保存状態は近世幼小児骨の標識モデルになり得るほど良好であった。計測をおこない、年齢などを推測し、以下の結果を得た。

1. この人骨は、考古学的所見から、近世に属する人骨である。
2. 18体のうち4体が幼小児骨で、その割合は22.2%である。4体のうち幼児骨は3体で、小児骨は1体である。幼児は3例とも5歳以下であることから、6歳まで生き延びることは当時としてはかなり困難であったことがうかがえる。
3. 幼児2体と小児1体の頭型を知ることができた。3例ともに頭型は長頭型で、成人と同じ頭型を示していた。

4. 2号人骨、4号人骨、10号人骨は乳歯と永久歯の萌出状況や歯根の形成程度から年齢を推定した。併せて、四肢骨体の長さや太さも近接する年齢群と比較したが、歯から推定した年齢と矛盾するものではなかった。B-3号人骨は四肢骨体の長さや太さで比較して年齢を推定した。
5. 2号人骨と10号人骨には病変が認められた。前者は上顎骨歯槽突起正中部と右側脛骨体に、後者は下顎第二乳臼歯の齲蝕による病変である。
6. 古人骨資料における幼小児骨は、当時のヒトの成長過程を知ることのできる貴重な資料である。現代の子どもたちが正常に成長しているのかを測る物差しになり得るものである。当然成長の途中で死去したので、何らかの身体的トラブルに見舞われ、正常に発育できなかったと思われるが、慢性疾患でなければ、死に至る直前までは比較的正常な発育を続けていたものと推測される。未成人骨の例数が増えてくれば、成長データが蓄積され、死因の究明と併せて、ヒトの成長過程における様々な影響を推測できるようになり、今後どのような環境を子どもたちに提供すればよいかがみえてくるであろう。

《参考文献》

1. Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd. 1. Gustav Fischer Verlag, Stuttgart: 429-597.
2. 松下孝幸、1983a: 山口県山口市西小路遺跡出土の近世人骨。玉祖遺跡・西小路遺跡（山口県埋蔵文化財査座報告70）: 187-190.
3. 松下孝幸・他、1983b: 山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次調査概報（豊北町埋蔵文化財調査報告2）: 19-30.
4. 松下孝幸・他、1986: 山口県下松市梅の木原遺跡出土の火葬骨。梅ノ木原遺跡（山口県埋蔵文化財調査報告第98集）: 107-112.
5. 松下孝幸・他、1992: 北九州市上清水遺跡出土の近世人骨。上清水遺跡V区（奈良時代以降編）（北九州市埋蔵文化財調査報告書第117集）: 416-441.
6. 松下孝幸、1993: 北九州市京町遺跡出土の近世人骨。京町遺跡（北九州市文化財調査報告書第59集）: 177-248.
7. 松下孝幸・他、1994: 山口県豊北町大河浜遺跡出土の人骨。大河浜遺跡（山口県埋蔵文化財調査報告第165集）: 11-21.
8. 松下孝幸、1995: 北九州市宗玄寺跡出土の近世人骨。宗玄寺跡（北九州市埋蔵文化財調査報告書第172集）: 502-542.
9. 松下孝幸、1996: 北九州市普濟院跡出土の近世人骨。折尾横穴群内普濟院跡: 95-121.
10. 松下孝幸、1997a: 柳井市鳥越遺跡出土の近世人骨。鳥越遺跡発掘調査報告一和田山浄水場配水池建設に伴う発掘調査一: 6-12.
11. 松下孝幸、1997b: 福岡県犀川町古川平原古墳出土の古墳時代・近世人骨。古川平原古墳群（犀川町文化財調査報告書第5集）: 82-98.
12. 松下孝幸、1998a: 山口県豊北町堤迫・道祖ノ本遺跡出土の近世人骨。堤迫・道祖ノ本遺跡（山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第15集）: 37-59.
13. 松下孝幸、1998b: 山口県阿知須町神正遺跡出土の近世人骨。赤迫遺跡B地区発掘調査報告（阿知須町埋蔵文化財

発掘調査報告書第 15 集) : 116-122.

14. 松下孝幸、1998c : 北九州市下到津近世墓出土の火葬骨。下到津近世墓 - 福岡県北九州市所在の下到津近世墓の発掘調査報告書 - : 9-11.
15. 松下孝幸、1998d : 長登銅山跡出土の近世時代人骨。長登銅山跡Ⅲ (美東町文化財調査報告第 8 集) : 52-55.
16. 松下孝幸、1999 : 北九州市常盤橋西勢溜り跡出土の近世・近代人骨。常盤橋西勢溜り跡 (北九州市埋蔵文化財調査報告書第 229 集) : 付論 1-12.
17. 松下孝幸、2002a : 北九州市京町遺跡第 3 地点出土の近世人骨。北九州市京町遺跡第 3 地点 (北九州市生往寺境内発掘調査報告) : 99-140.
18. 松下孝幸、2002b : 山口県萩市萩城跡 (外堀地区) 出土の近世人骨。萩城跡 (外堀地区) I (山口県埋蔵文化財センター調査報告第 27 集) : 287-293.
19. 松下孝幸、2003 : 上清水遺跡Ⅵ区出土の近世人骨。上清水遺跡Ⅵ区 (北九州市埋蔵文化財調査報告書第 290 集) : 53-66.
20. 松下孝幸、2004 : 北九州市中貫ミカシキ遺跡出土の近世人骨。中貫ミカシキ遺跡 (5a 区の調査) (北九州市埋蔵文化財調査報告書第 321 集) : 126-132.
21. 松下孝幸、2005a : 開善寺跡出土の近世人骨。開善寺跡一デオデオ小倉本店建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告書一 (北九州市埋蔵文化財調査報告書第 340 集) : 146-175.
22. 松下孝幸、2005b : 太宰府市日焼遺跡出土の近世人骨。太宰府・佐野地区遺跡群 20 佐野土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書日焼遺跡第 7 次調査 (太宰府市の文化財第 80 集) : 389-427.
23. 松下孝幸、2005c : 山口県柳井市向田遺跡出土の中・近世人骨。陶埴第 18 号 (山口県埋蔵文化財センター年報一平成 16 年度一) : 63-100.
24. 松下孝幸、2006 : 萩城跡 (外堀地区) 出土の中世・近世人骨。萩城跡Ⅲ (山口県埋蔵文化財センター調査報告第 52 集) : 253-274.
25. 松下真実・他、2010a : 北九州市蒲生石棺群 C 区出土の近世人骨。蒲生石棺群 (北九州市埋蔵文化財調査報告書第 425 集) : 204-212.
26. 松下真実・他、2010b : 北九州市恒見遺跡出土の近世人骨。恒見遺跡 (北九州市埋蔵文化財調査報告書第 434 集) : 41-66.
27. 松下真実・他、2011a : 山口県柳井市吉毛遺跡出土の中・近世人骨。山口考古第 31 号 : 49-88.
28. 松下真実・他、2011b : 下関市大乘寺出土の近世人骨。長門国府跡人骨編 (下関市文化財調査報告書 30) : 30-80.
29. 松下真実、2012 : 山口県山口市朝田墳墓群Ⅵ地区出土の近世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第 7 号 : 1-34.
30. 鈴木尚、1963 : 日本人の骨。岩波書店、東京。

* Takayuki MATSUSHITA、** Masami MATSUSHITA (特定非営利活動法人人類学研究機構)

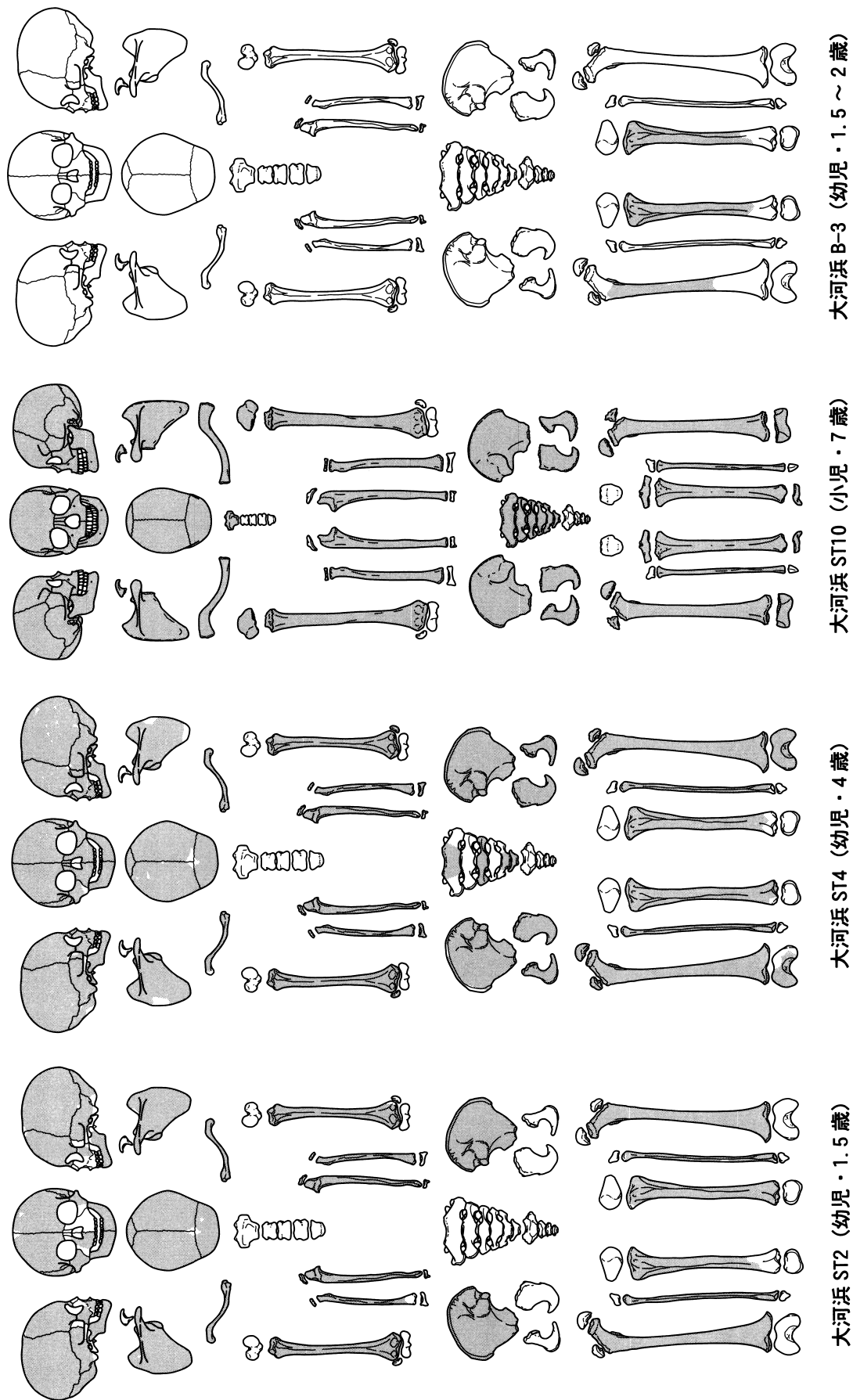


図2 人骨の残存図 (アミかけ部分)

(Fig. 2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

表 5 - 1 大腿骨計測値 (mm) (Table 5-1. Comparison of measurements and indices of femora.)

	京 町 福岡県 北九州市 KB-7 9ヶ月 近世	京 町 福岡県 北九州市 DB-274 1歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-123 1歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 DB-244-2 1.5歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST02 1.5歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-182 1.5~2歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-312 2歳 近世	日 焼 福岡県 太宰府市 S-666 2歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-303 3歳 近世	恒 見 福岡県 北九州市 N5-Y-4 3.5歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-307 3~4歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-361 4歳 近世	大河浜 山口県 下関市 S74 4歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-122 4~5歳 近世
1. 骨体最大長(右)	-	-	-	135	120	(117)	-	-	154	-	-	-	165	-
(左)	-	-	-	-	121	(117)	-	-	153	-	-	-	165	-
2. 骨体中央横径(右)	10	10	-	12	10	11	12	-	15	12	-	-	13	13
(左)	10	-	11	-	10	12	12	11	14	-	14	-	12	-
3. 骨体中央矢状径(右)	9	9	-	11	9	12	11	-	-	10	-	-	11	12
(左)	8	-	9	-	9	11	11	10	11	11	12	-	12	-
4. 骨体中央間(右)	31	31	-	37	32	37	39	-	-	36	40	-	39	40
(左)	30	-	35	-	32	36	39	36	42	-	45	-	39	-
5. 骨体上横径(右)	-	13	-	14	13	16	15	13	-	-	-	-	17	-
(左)	11	-	14	-	13	15	15	-	16	-	-	-	16	-
6. 骨体上矢状径(右)	-	11	-	12	10	13	13	13	-	-	-	-	11	-
(左)	9	-	10	-	10	11	13	-	13	-	-	-	12	-
7. 骨体上端幅(右)	-	27	-	32	28	28	34	-	39	35	-	-	36	-
(左)	31	-	-	-	26	-	35	-	34	-	-	-	34	-
8. 骨体下端幅(右)	30	-	-	40	32	-	-	-	42	-	-	(43)	38	-
(左)	-	-	-	-	33	-	-	-	43	-	-	46	39	-
4/1 長厚示数(右)	-	-	-	27.41	26.67	(31.62)	-	-	-	-	-	-	23.64	-
(左)	-	-	-	-	26.45	(30.77)	-	-	27.45	-	-	-	23.64	-
3/2 骨体中央断面示数(右)	90.00	90.00	-	91.67	90.00	109.09	91.67	-	-	83.33	-	-	84.62	92.31
(左)	80.00	-	81.82	-	90.00	91.67	91.67	90.91	78.57	78.57	85.71	-	100.00	-
6/5 上骨体断面示数(右)	-	84.62	-	85.71	76.92	81.25	86.67	100.00	-	84.62	-	-	64.71	-
(左)	81.82	-	71.43	-	76.92	73.33	86.67	-	68.75	-	-	-	75.00	-

() 推定値

表 5-2 大腿骨計測値 (mm) (Table 5-2. Comparison of measurements and indices of femora)

	京 町 福岡県 北九州市 KB-85 4歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-302 5歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-227 6歳 近世	大 河 浜 山口県 下関市 ST70 7歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-301 7~8歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 KB-350 8歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 DB-448-4 8歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 DB-378-2 9歳 近世	京 町 福岡県 北九州市 DB-102-1-1 10歳 近世
1. 骨体最大長(右)	-	218	227	245	-	-	-	-	-
(左)	-	221	224	245	-	-	-	-	-
2. 骨体中央横径(右)	15	15	14	14	-	17	17	16	15
(左)	15	15	14	14	-	17	-	17	16
3. 骨体中央矢状径(右)	13	16	13	15	-	15	17	16	19
(左)	13	16	13	15	-	13	-	14	19
4. 骨体中央周(右)	46	50	43	48	-	52	56	50	56
(左)	45	50	44	48	57	50	-	51	58
5. 骨体上横径(右)	18	18	18	17	-	22	-	21	22
(左)	17	19	19	17	-	21	-	21	23
6. 骨体上矢状径(右)	14	15	13	14	-	16	-	15	17
(左)	13	15	14	15	-	13	-	15	18
7. 骨体上端幅(右)	-	48	48	43	-	-	-	-	-
(左)	-	48	48	44	-	-	-	-	54
8. 骨体下端幅(右)	-	45	45	49	-	-	-	-	-
(左)	-	48	-	49	-	-	-	-	-
4/1 長厚示数(右)	-	22.94	18.94	19.59	-	-	-	-	-
(左)	-	22.62	19.64	19.59	-	-	-	-	-
3/2 骨体中央断面示数(右)	86.67	106.67	92.86	107.14	-	88.24	100.00	100.00	126.67
(左)	86.67	106.67	92.86	107.14	-	76.47	-	82.35	118.75
6/5 上骨体断面示数(右)	77.78	83.33	72.22	82.35	-	72.73	-	71.43	77.27
(左)	76.47	78.95	73.68	88.24	-	61.90	-	71.43	78.26

表 7 脳頭蓋 (mm) (Calvaria)

	大河浜	大河浜	大河浜
	山口県	山口県	山口県
	下関市	下関市	下関市
	ST4	ST10	ST10
	4歳	7歳	7歳
	近世	近世	近世
1.	頭蓋最大長	167	167
8.	頭蓋最大幅	125	131
17.	バジオン・ブレグマ高	(130)	131
8/1	頭蓋長幅示数	74.85	78.44
17/1	頭蓋長高示数	(77.84)	78.44
17/8	頭蓋幅高示数	(104.00)	100
1+8+17/3	頭蓋モズルス	(140.67)	143
5.	頭蓋底長	89	91
9.	最小前頭幅	84	95
10.	最大前頭幅	101	117
11.	両耳幅	103	113
12.	最大後頭幅	100	105
13.	乳突幅	79	92
7.	大後頭孔長	36	40
16.	大後頭孔幅	26	28
16/7	大後頭示数	72.22	70
23.	頭蓋水平周	468	480
24.	横弧長	297	295
25.	正中矢状弧長	347	352
26.	正中矢状前頭頂弧長	-	122
27.	正中矢状後頭頂弧長	-	116
28.	正中矢状前頭頂弧長	108	114
29.	正中矢状後頭頂弧長	-	106
30.	正中矢状前頭頂弧長	-	105
31.	正中矢状後頭頂弧長	93	99
29/26	矢状前頭示数	-	86.89
30/27	矢状頭頂示数	-	90.52
31/28	矢状後頭示数	-	86.84

() 推定値

表 8 顔面頭蓋 (mm、度) (Facial skeleton)

	大河浜	大河浜	大河浜
	山口県	山口県	山口県
	下関市	下関市	下関市
	ST4	ST10	ST10
	4歳	7歳	7歳
	近世	近世	近世
40.	顔長	(75)	82
41.	側顔長	60	60
42.	下顔長	72	82
43.	上顔幅	84	94
45.	頬骨弓幅	-	115
46.	中顔幅	75	87
47.	顔高	82	92
48.	上顔高	47	54
47/45	顔示数(K)	-	80.00
48/45	上顔示数(K)	-	46.96
47/46	顔示数(V)	109.33	105.75
48/46	上顔示数(V)	62.67	62.07
40+45+47/3	顔面モズルス	-	96.33
50.	前眼窩間幅	14	15
44.	両眼窩幅	79	87
50/44	眼窩間示数	17.72	17.24
51.	眼窩幅(右)	37	39
52.	眼窩幅(左)	34	40
52/51	眼窩示数(右)	89.19	84.62
54.	鼻幅	21	22
55.	鼻高	37	43
54/55	鼻示数	56.76	51.16
55(1).	梨状口高	-	24
56.	鼻骨長	-	21
57.	鼻骨最小幅	-	7
57(1).	鼻骨最大幅	-	16
60.	上顎齒槽長	-	40
61.	上顎齒槽幅	53	60
62.	口蓋長	-	32
63.	口蓋幅	-	-
64.	口蓋高	-	-
61/60	上顎齒槽示数	-	150.00
63/62	口蓋示数	-	-
64/63	口蓋高示数	-	-
72.	全側面角	-	89
73.	鼻側面角	-	89
74.	齒槽側面角	-	86

() 推定値

表 9 鼻根部 (mm、度) (Nasal root)

	大河浜	大河浜	大河浜
	山口県	山口県	山口県
	下関市	下関市	下関市
	ST4	ST10	ST10
	4歳	7歳	7歳
	近世	近世	近世
50.	前眼窩間幅	14	15
50A.	鼻根横弧長	-	16
50/50A	鼻根彎曲示数	-	93.75
57.	鼻骨最小幅	-	7
44.	両眼窩幅	79	87
50/44	眼窩間示数	17.72	17.24
a.	前頭突起上幅(右)	7	9
b.	前頭突起上幅(左)	7	9
c.	前頭突起水平傾斜角	124	90
d.	G-N投影距離	3	3
e.	鼻根角	-	152
f.	G-R距離	-	33
f/e	垂線高	-	3
77.	鼻根陥凹示数	-	90.90
Fa	鼻頰骨角	147	150
Fh	fmo間距離	79	87
Fh/Fa	垂線高	12	12
Fh/Fa	顔面扁平示数	15.19	13.79

表 1 0 下顎骨 (mm、度)(Mandibula)

	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市
	ST02 1.5歳 近世	ST4 4歳 近世	ST10 7歳 近世	ST10 7歳 近世
65	-	-	103	
65(1).	-	77	86	
66	(60)	72	78	
67	34	36	42	
68	-	43	54	
68(1).	-	-	78	
69	20	25	23	
69(1).	16	19	23	
69(2).	17	19	21	
70	-	-	-	
70(1).	-	42	45	
70(2).	-	-	44	
70(3).	33	38	48	
71(1).	-	38	49	
71	28	31	35	
71a.	-	31	34	
79	-	8	12	
66/65	-	-	13	
68(1)/65	-	27	27	
69(2)/69	-	-	28	
71/70	24	28	30	
71a/70(2)	-	27	30	
70(3)/71(1)	24	28	30	
() 推定値	-	128	115	
66/65	-	-	120	
68/65	-	-	75.73	
68(1)/65	-	-	52.43	
69(2)/69	-	-	75.73	
71/70	-	-	-	
71a/70(2)	-	-	-	
70(3)/71(1)	-	-	-	
66/65	-	-	66.67	
68/65	-	-	68.18	
68(1)/65	-	-	85.71	
69(2)/69	-	-	88.24	
71/70	-	-	44.44	
71a/70(2)	-	-	46.43	
70(3)/71(1)	-	-	-	

表 1 1 鎖骨 (mm) (Clavicula)

	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市
	ST02 1.5歳 近世	ST4 4歳 近世	ST10 7歳 近世	ST10 7歳 近世
1.	61	-	82	
2.	61	76	85	
3.	5	-	5	
4.	6	6	6	
4/1	6	-	7	
	6	7	7	
	18	-	22	
	20	23	20	
	29.51	-	26.83	

表 1 2 上腕骨 (mm) (Humerus)

	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市
	ST02 1.5歳 近世	ST4 4歳 近世	ST10 7歳 近世	ST10 7歳 近世
1.	100	132	173	
2.	100	133	171	
3.	10	10	12	
4.	10	10	12	
5.	8	9	9	
6.	8	9	9	
7.	30	32	37	
3/2	30	33	35	
7/1	17	19	23	
	17	18	24	
	22	29	32	
	-	30	33	
	29	31	36	
	29	32	35	
	80.00	90.00	75.00	
	80.00	90.00	75.00	
	29.00	23.48	20.81	
	29.00	24.06	20.47	

表 1 4 尺骨 (mm) (Ulna)

	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市
	ST02 1.5歳 近世	ST4 4歳 近世	ST10 7歳 近世	ST10 7歳 近世
1.	-	-	142	
2.	83	-	141	
3.	6	7	7	
4.	6	7	7	
5.	7	9	8	
5/1	7	8	8	
	21	25	25	
	22	25	27	
	18	19	21	
	19	18	21	
	-	-	14.79	
	22.89	-	14.89	
	85.71	77.78	87.50	
	85.71	87.50	87.50	

表 1 3 橈骨 (mm) (Radius)

	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市	大河浜 山口県 下関市
	ST02 1.5歳 近世	ST4 4歳 近世	ST10 7歳 近世	ST10 7歳 近世
1.	-	94	127	
2.	75	94	129	
3.	7	7	9	
4.	7	7	9	
5.	4	6	7	
5/1	5	6	7	
	20	22	26	
	21	22	26	
	19	21	23	
	20	21	23	
	-	22.34	18.11	
	26.67	22.34	17.83	
	57.14	85.71	77.78	
	71.43	85.71	77.78	

表 1 5 大腿骨 (mm) (Femur)

	大河浜 山口県 下関市 ST02 1.5歳 近世	大河浜 山口県 下関市 B-3 1.5~2歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST4 4歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST10 7歳 近世
1. 骨体最大長(右) (左)	120 121	- -	165 165	245 245
2. 骨体中央横径(右) (左)	10 10	- -	13 12	14 14
3. 骨体中央矢状径(右) (左)	9 9	- -	11 12	15 15
4. 骨体中央周(右) (左)	32 32	- -	39 39	48 48
5. 骨体上横径(右) (左)	13 13	- 16	17 16	17 17
6. 骨体上矢状径(右) (左)	10 10	- 11	11 12	14 15
7. 骨体上端幅(右) (左)	28 26	- -	36 34	43 44
8. 骨体下端幅(右) (左)	32 33	- -	38 39	49 49
4/1 長厚示数(右) (左)	26.67 26.45	- -	23.64 23.64	19.59 19.59
3/2 骨体中央断面示数(右) (左)	90.00 90.00	- -	84.62 100.00	107.14 107.14
6/5 上骨体断面示数(右) (左)	76.92 76.92	- 68.75	64.71 75.00	82.35 88.24

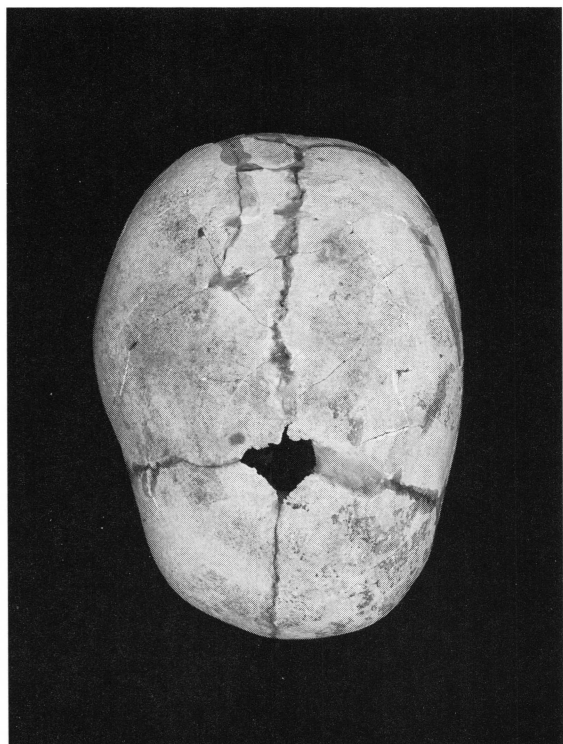
表 1 6 脛骨 (mm) (Tibia)

	大河浜 山口県 下関市 ST02 1.5歳 近世	大河浜 山口県 下関市 B-3 1.5~2歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST4 4歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST10 7歳 近世
1. 骨体最大長(右) (左)	100 -	- -	- -	187 186
2. 骨体中央横径(右) (左)	8 8	10 10	13 11	13 12
3. 骨体中央最大径(右) (左)	9 9	10 10	16 13	16 17
4. 骨体中央周(右) (左)	29 29	33 33	49 40	47 48
5. 骨体上端幅(右) (左)	- 24	- -	31 35	41 42
6. 骨体下端幅(右) (左)	14 -	- -	- -	27 28
7. 骨体最小周(右) (左)	29 -	32 32	44 38	45 47
7/1 長厚示数(右) (左)	29.00 -	- -	- -	24.06 25.27
2/3 骨体中央断面示数(右) (左)	88.89 88.89	100.00 100.00	81.25 84.62	81.25 70.59

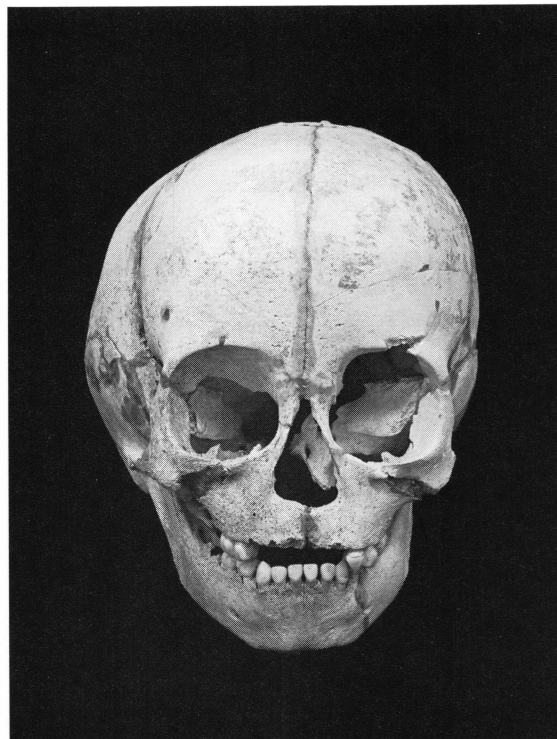
右に病変、肥大

表 1 7 腓骨 (mm) (Fibula)

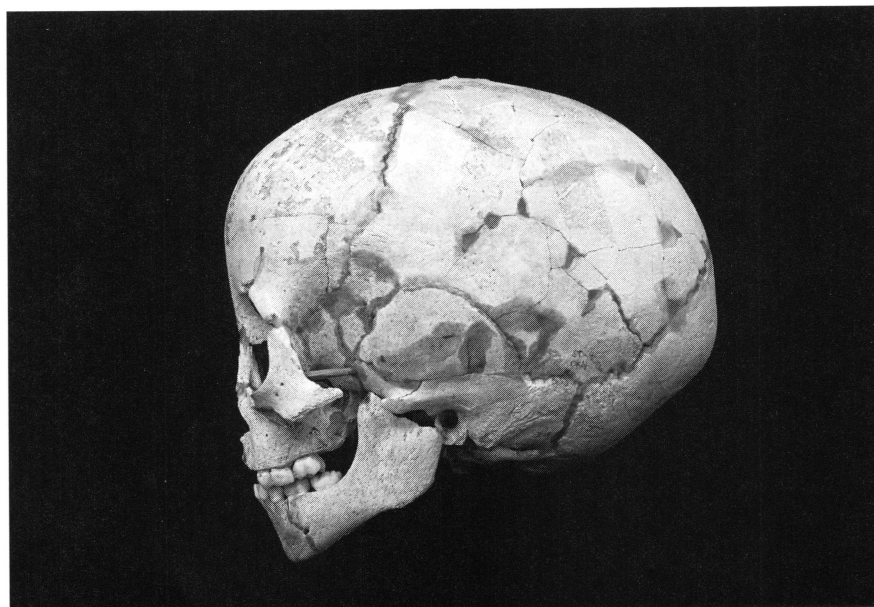
	大河浜 山口県 下関市 ST02 1.5歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST4 4歳 近世	大河浜 山口県 下関市 ST10 7歳 近世
1 骨体最大長(右) (左)	95 95	129 -	187 185
2 骨体中央最大径(右) (左)	5 5	8 7	8 8
3 骨体中央最小径(右) (左)	4 4	5 5	6 6
4 骨体中央周(右) (左)	17 18	24 22	23 23
5 骨体最小周(頸周)(右) (左)	16 17	22 21	22 20
5/1 長厚示数(右) (左)	16.84 17.89	17.05 -	11.76 10.81
3/2 中央断面示数(右) (左)	80.00 80.00	62.50 71.43	75.00 75.00



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

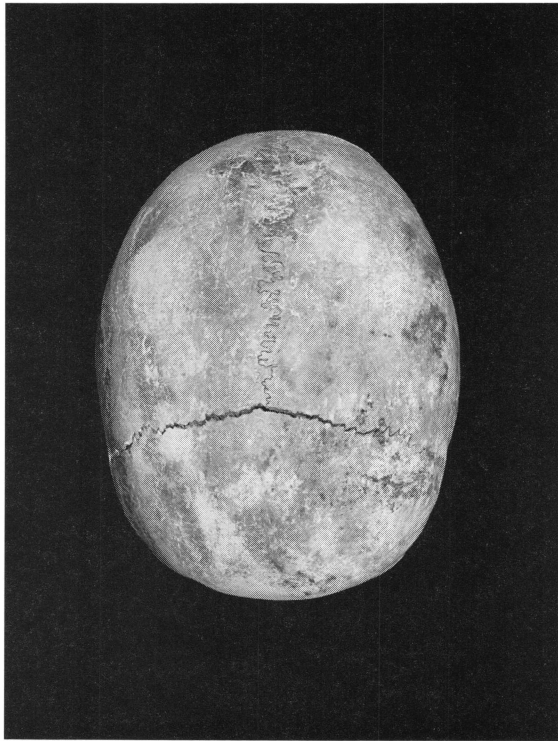


頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

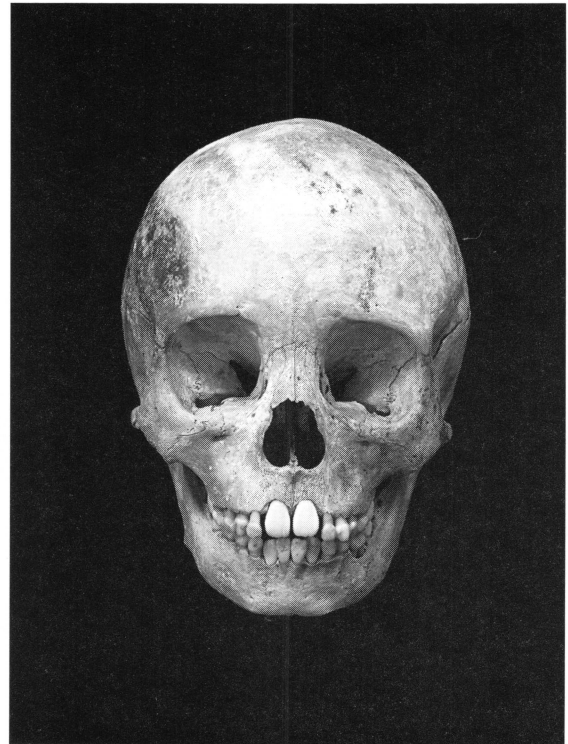


頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

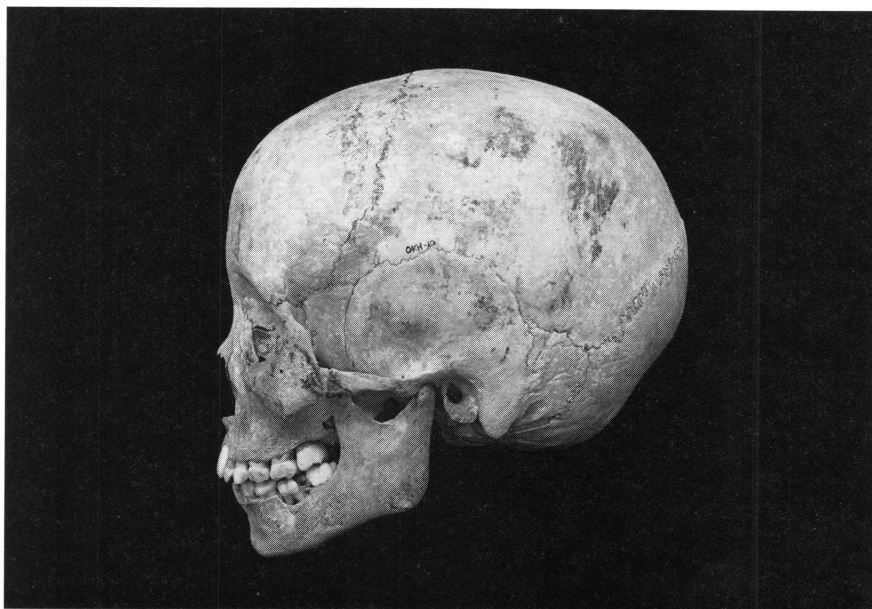
大河浜 ST4 (幼児・4歳)
(SK-4 Okonohama site, infant unknown sex)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

大河浜 ST10 (小児・7歳)
(No. 10 Okonohama site, juvenile unknown sex)



四肢骨 (The limb bones)

大河浜 ST2 (幼児・1.5歳)

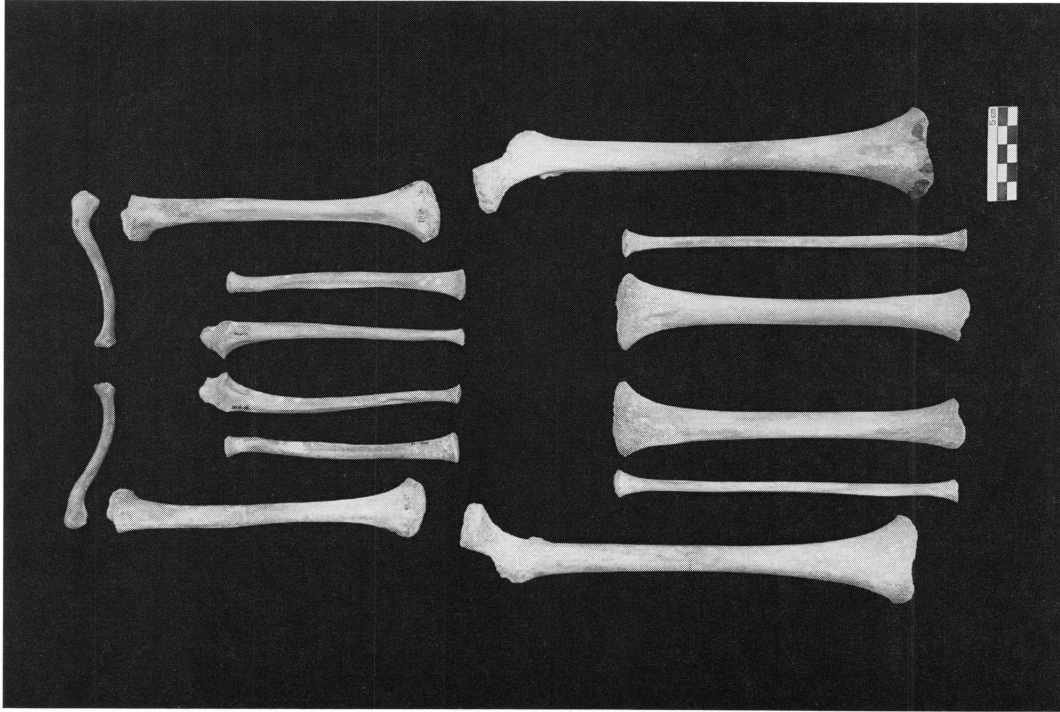
(No. 2 Okonohama site, infant unknown sex)



四肢骨 (The limb bones)

大河浜 ST4 (幼児・4歳)

(SK-4 Okonohama site, infant unknown sex)



四肢骨 (The limb bones)

大河浜 ST10 (小児・7 歳)

(No, 10 Okonohama site, juvenile unknown sex)



四肢骨 (The limb bones)

大河浜 B-3 (幼児・1.5 ~ 2 歳)

(No, B-3 Okonohama site, infant unknown sex)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

研究紀要

第 10 号

発行年月日	2015 年 3 月
編集・発行	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 〒 759-6121 山口県下関市豊北町神田上 891-8 TEL 083-788-1841 FAX 083-788-1843
印 刷	藤井印刷株式会社 〒 750-0009 山口県下関市上田中町5-6-24 TEL 083-231-1612 FAX 083-222-8611
